

# インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.120

2010年2月24日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

## 家族の一員としての「じぶんのしごと」を

男女共生教育部会授業研究会 開催

1月に三田市で、男女共生教育部会の授業研究会を開催しました。単元は生活科「わたしにもできる いえのしごと」(小学校2年生)。子どもたちは、これまでの学習の中で、家庭における様々な仕事体験を積んでいます。本時の学習では、各家庭での仕事分担の様子について話し合い、自分の家では大人がしている仕事の中にも、子どもにできる仕事はいろいろあるということに目をむけていきました。

家族の仕事を助ける「おてつだい」から、家族の一員として責任をもって続けていく自分の「しごと」へ。長期休業期間も含めた継続的なとりくみをとおして培われてきた子どもたちの意欲と、子どもたちの実態の把握に基づいた授業者のていねいな支援が印象に残る授業でした。



## たばこを勧められたら、どう断りますか？

保健・体育部会授業研究会 開催

2月に南あわじ市で、研究所員・協力研究所員をはじめ、開催校の教職員や協力研究所員のゼミ生等が数多く参加し、研究所の保健・体育部会の授業研究会を開催しました。授業内容は『病気の予防』の「喫煙の害」(指導計画全8時間の7時間目)、形態は学級担任と養護教諭によるT・Tで、受動喫煙の害や発育期の喫煙の危険性について学習したあと、友だちにたばこを勧められたときのロールプレイをおこないました。研究協議では「ロールプレイの場面設定」や「ワークシート」等について、充実した意見交流が展開されました。また、健康教育を「学級担任による保健学習」と「養護教諭による保健指導」の2本柱で支えていくことの大切さも再確認しました。



元喫煙者Aさんへの  
インタビューで教室  
が和やかな雰囲気に

授業者2人が同じねらい、同じ気持ちで

